＜第41回全国豊かな海づくり大会 兵庫大会　協賛行事＞

第３回 里海カンファレンス

日本の里海
～その成立要因と多様な役割を探る～

写真：沖縄・恩納村のサンゴの養殖

日　時：　2022年10月30日（日）　13時～17時
会　場：　ラッセホール　2階　ローズサルーン

主　催：（特非）里海づくり研究会議、（公財）国際エメックスセンター

後　援：　環境省、兵庫県、神戸市、瀬戸内海環境保全知事･市長会議
（公社）瀬戸内海環境保全協会
協　賛：　第41回全国豊かな海づくり大会兵庫大会実行委員会

プログラム

13:00 -13:10	**開会挨拶**	**松田　治** （特非）里海づくり研究会議　理事長 （公財）国際エメックスセンター　副理事長

【講演】　日本の里海　― 我が国における代表的な成功事例から ―

13:10 -13:40	〈講演1〉 **アマモとカキの里海　～里海と里山と“まち”をつなぐ～** **岡山県備前市日生町**	**田中　丈裕** （特非）里海づくり研究会議 理事・事務局長
13:40 -14:10	〈講演2〉 **沖縄の里海から ～世界一サンゴにやさしい海を目指して～** **沖縄県国頭郡恩納村**	**鹿熊　信一郎** 佐賀大学 海洋エネルギー研究所 特任教授
14:10 -14:40	〈講演3〉 **里海里山ひとつながりのマンダラに学ぶ** **宮城県南三陸町志津川湾**	**太齋　彰浩** （一社）サスティナビリティセンター 代表理事
14:40 -15:10	〈講演4〉 **科学知×在来知＋コミュニケーション力で持続可能な里海を創る** **高知県大月町柏島**	**神田　優** （特非）黒潮実感センター センター長
15:10 -15:20	休憩	

【パネルディスカッション、総合討論】　日本の里海　～その成立要因と多様な役割を探る～

15:20 -16:50

＜コーディネーター＞

日高　健　　近畿大学 産業理工学部　経営ビジネス学科　教授

＜パネリスト＞

田中　丈裕	前出
鹿熊　信一郎	前出
太齋　彰浩	前出
神田　優	前出
古川　恵太	（特非）海辺つくり研究会　理事長
鷲尾　圭司	水産大学校　元理事長

16:50 -17:00	**閉会挨拶**	**春名　克彦** （公財）国際エメックスセンター 専務理事

講演者（パネリスト）

田中　丈裕　　特定非営利活動法人 里海づくり研究会議　理事・事務局長

NPO里海づくり研究会議 理事・事務局長。1953年大阪市生まれ。1979年に岡山県に入庁し、2008～2011年に水産課長。岡山県を退職後、海洋建設(株)水産環境研究所長を務めた後、2012年1月に“里海”の提唱者である九州大学名誉教授 柳哲雄氏、広島大学名誉教授 松田治氏らとともにNPO里海づくり研究会議を設立、現在に至る。40年以上に亘って漁業現場で実践活動・研究活動を継続中。地域活性化伝道師（内閣府）、みなとまちづくりマイスター（一般社団法人ウオーターフロント協会）。

鹿熊　信一郎　　佐賀大学 海洋エネルギー研究所　特任教授

佐賀大学海洋エネルギー研究センター 特任教授。沖縄県海洋深層水研究所 所長を務めた後、2019年12月から現職。専門は水産資源管理とサンゴ礁生態系保全。研究フィールドは沖縄とアジア太平洋島嶼国。これまでに、フィジー、フィリピンを中心に、12ヶ国の村落主体沿岸資源管理を調べてきた。1990年代後半に里海の提唱者である柳哲雄教授と出会い、柳教授の里海概念に共感し、以後ずっと支持し続けている。2018年に出版された「里海学のすすめ」筆頭編者。

太齋　彰浩　　一般社団法人 サスティナビリティセンター　代表理事

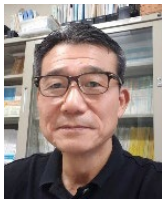
(一社)サスティナビリティセンター代表理事。民間機関の研究者を経てフィールド密着型の教育を志し、南三陸へ移住。箱もの施設再生により、年間数千人の交流人口創出。東日本大震災後は、町職員として壊滅した水産業の復興に奔走するとともに「循環型でレジリエントなまちづくり」を目指した、南三陸町バイオマス産業都市構想の実現に貢献。2018年4月より現職。「森里海ひといのちめぐるまち」の実現を目指す。

神田　優　　特定非営利活動法人 黒潮実感センター　センター長

1966年高知市生まれ。高知大学農学部栽培漁業学科卒業・東京大学農学部農学生命科学専攻博士課程修了。農学博士。四国の西南端、高知県大月町柏島に“島が丸ごと博物館”という構想の元、海のフィールド・ミュージアムを作ろうと1998年単身柏島に移住し、2002年NPO法人黒潮実感センターを立ち上げる。
島の自然と人の暮らしが両立する、持続可能な「里海」づくりに挑戦している。
2012年第５回海洋立国推進功労者表彰（内閣総理大臣賞）」など受賞多数。

コーディネーター、パネリスト

コーディネーター　**日高　健**　　近畿大学 産業理工学部　経営ビジネス学科　教授



近畿大学産業理工学部経営ビジネス学科・教授、博士（水産学）
宮崎県生まれ。九州大学農学部卒業、神戸大学大学院経営学研究科修了。福岡県庁を経て、1998年から近畿大学農学部に勤務、2007年に産業理工学部に異動。
研究テーマは里海管理、沿岸域管理、漁村活性化など。特に里海については『里海と沿岸域管理』（農林統計協会、2016）、『里海マネジメント論』（農林統計協会、2022）でいかにマネジメントするかをまとめている。

パネリスト　**古川　恵太**　　特定非営利活動法人 海辺つくり研究会　理事長

NPO海辺つくり研究会 理事長。東京海洋大学産学・地域連携推進機構 客員教授。徳島大学環境防災研究センター客員教授。東アジア海域環境管理パートナーシップ(PEMSEA)技術会議共同議長、東京湾再生官民連携フォーラム モニタリングＰＴ長、笹川平和財団海洋政策研究所特別研究員（非常勤）、国土技術政策総合研究所、笹川平和財団海洋政策研究所を経て現在に至る。沿岸生態系の保全・再生や沿岸域総合管理の専門家として、東京湾再生についてのプロジェクト等において幅広く活躍中。

パネリスト　**鷲尾　圭司**　　水産大学校　元理事長

元 水産大学校理事長。林崎漁協顧問、日本伝統食品研究会 会長、NPO里海づくり研究会議 理事。京都大学博士課程から兵庫県の林崎漁協企画研究室長に着任、漁場環境調査やノリ養殖指導、資源管理、魚食普及に尽力。明石を中心に漁業と魚食文化の発信を続け、イカナゴくぎ煮、節分の恵方巻の仕掛け人。2000 年京都精華大学人文学部環境社会学科教授、学部長。2009年水産大学校理事長に就任し、2021年まで代表を務めた。総合海洋政策本部参与として政府の海洋政策にも尽力。

Memo